

第1回滑川市立地適正化計画策定委員会 議事録(要約)

1 開催日時 令和6年11月18日(月) 16時00分～17時24分

2 開催場所 滑川市役所 東別館3階大会議室

3 出席者

(1)滑川市立地適正化計画策定委員会委員(16名)

(2)事務局(3名;建設部都市計画課長、同課長補佐及び同計画係長)

4 配布資料

- ・次第書
- ・滑川市立地適正化計画策定委員会設置要綱
- ・左上をホッチキス止めしたA4用紙の資料
- ・滑川市立地適正化計画策定に向けたスケジュール(案)(A3用紙1枚)
- ・『笑顔いっぱい 幸せいっぱい 光り輝く 滑川』の実現に向けた持続可能なまちづくりに関するアンケート1冊

5 議題

滑川市立地適正化計画の概要、策定の必要性
住民アンケート実施に際し、その内容報告
その他

6 会議の概要

柿沢委員長及び久保田副委員長の互選⇒選任（16:07）

（各議題ごとに、事務局から資料をもとに説明し、質疑応答へ）

議題1 滑川市立地適正化計画の概要、策定の必要性

委員 将来の滑川市のまちづくりを議論する上で、できるだけ客観的なデータに基づき、たくさん分析して、議論していく必要があると思います。

委員 滑川のまちづくりの魅力は、立山連峰や富山湾の景色はもちろん、災害ハザードも大事な要素。

委員 昔まちなかに住んでいた人もどんどん郊外に移り住んでしまっている状況がある。

委員 能登半島地震の経験則から、ある程度年配の方々が、街の中心地に集まってもらえる仕組みづくりが大事ではないかな。

委員 駅の近くにいろんな公共施設が、既に立地誘導されている、というのは滑川市。

委員 滑川市は、県下市町村で4番目のものづくりの自治体。次期の工業団地造成に向けた地域も、立地適正化計画の中でも一つ載せていただきたい。

委員 世帯数が減少し始めると、さらに空き家の増加が加速していきます。そのことも今後のまちづくりの重要な課題。

委員 空き家問題には、滑川市特有の永代地上権の問題もあると思います。

委員 これからの滑川市のまちづくりをどう考えて、立地適正化計画を作っていくのかというのは大切。

議題2 住民アンケート実施に際し、その内容報告

委員 アンケートは20分間かかると記載がある。QRコードで読み取ってスマートフォンがキープされるための回答時間が長いのではないか。

事務局 職員による実際のアンケート回答時間の測定では、大体15分ぐらいだったので、少し長めに記載しました。記載の仕方を考えさせていただきたいと思っています。

委員 住民向けアンケート冊子8ページの滑川市の拠点整備について、というところにプラント3滑川店～上小泉交差点周辺とあるのは、何かこう都市の中心とする考え方があるふうに取り取れる。

事務局 こちらについては、市民の方々の認識を確認する手段として入れさせていただいております。

委員 今後細かな戦略を練るうえで、人口に関する資料で、年齢層別といったものも出せますか。

事務局 国勢調査の人口調査等を基にしていますので、年代別の結果を出すことは可能です。今回の会議では、概要をお示しすることとしたので、細かな点まで出していなかった。

委員 旧8号や新8号の間に住宅がいっぱい建ってきている。商業施設も近くにある。本当に将来を考えて、いわゆる中心市街地をコンパクトなまま、少し動かせれば一番いいなと思っています。